

議会だより

Vol.
239

ふじえだ市議会だより
令和8年8月号

令和8年 令和8年度一般会計補正予算を可決 6月定例会議会 地域農業構造転換支援対策事業費400万円増額

このようなトラクターなどの農業機材導入の補助金として使われます。

関連記事 2 ページ



トピック

- P 2..... 6月定例会議会で審議された議案
- P 3..... 常任委員会審査レポート
- P 4..... 一般質問
- P11..... 令和7年度政務活動費
- P12..... 9月定例会議会日程／議場見学案内



藤枝市議会ホームページ

令和8年6月定例月議会の概要 日程:6月9日～6月30日(22日間)

令和8年6月定例月議会で審議した市長提出議案31件、議員発議案1件について、全議案とも原案どおり可決・同意・適当とされました。



市長提出議案 (第35号議案～第62号議案、諮問第1号～第3号)

- ・予算案件 2件
- ・その他案件 2件
- ・条例案件 7件
- ・人事案件 20件



第35号議案～第45号議案



第46号議案～第62号議案
諮問第1号～諮問第3号

※各議案については、藤枝市議会ホームページをご覧ください。

pick up!

◆「令和8年度藤枝市一般会計補正予算(第2号)」(第35号議案)

農地集約化に向けた経営改善に必要な農業用機械導入を支援するため、農林水産業費(地域農政推進対策事業費)を400万円増額し、本市の地域計画のうち目標地図に位置付けられた認定農業者等によるハウス拡大やトラクターなどの施設・機械の導入に対して補助します。

人事案件

次の人事案件について同意・適当としました。

◆ 第46号～第62号議案

農業委員会委員

栗原 博司さん(滝沢)	岩本 光雄さん(谷稲葉)	高橋 君雄さん(時ヶ谷)
栗原 伸充さん(仮宿)	増田 俊平さん(稲川)	仲田 好毅さん(前島三)
杉本 裕明さん(大新島)	大石 康弘さん(大洲五)	藪崎 眞古人さん(岡部町桂島)
桑山 壽美男さん(岡部町宮島)	松浦 久美子さん(大新島)	田森 喜治さん(大東町)
上山 優さん(瀬戸ノ谷)	海野 みのりさん(北方)	澤口 のり子さん(滝沢)
梅原 康浩さん(郡)	木野 浩満さん(平島)	

◆ 諮問第1号

人権擁護委員

戸塚 敏雄さん(滝沢)

◆ 諮問第2号

人権擁護委員

竹下 蓉子さん(仮宿)

◆ 諮問第3号

人権擁護委員

森 豊通さん(藤岡三)

議員発議案

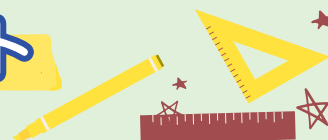
発議案第1号 すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

近年、家族等の介護や世話を無償で担う「ケアラー」の負担が深刻な社会問題となっており、すべてのケアラーが個人の尊厳を保ち、社会から孤立することなく、安心して生活し、就労や学びなど社会参加を継続できるよう、国において財政支援を含めた包括的な支援と法的枠組みの整備を講じるよう求めるものです。





常任委員会審査レポート ピックアップ!



総務委員会

現地調査

歴史・文化・芸術に触れる環境づくりについて

歴史・文化・芸術に触れる環境づくりについて、郷土博物館・文学館の常設展と特別展「さとうわきこ展」を調査しました。展示内容や特別展の開催について説明を受け、展示状況を確認しました。委員からは、家康と田中城に関するアニメの視聴について、資料の寄贈について等の質疑がありました。

8月16日まで開催の特別展「日本のおもちゃ大博覧会」にもぜひ多くの方に鑑賞していただきたいです。



当日の学校給食メニュー
(お茶パン、チンゲン菜のクリーム煮など)

健康福祉教育委員会

現地調査

学校給食の現状について

中部学校給食センターにおいて、学校給食の現状について調査を行いました。

まず、「食育月間」(6月)を利用して、6月の連続した5日間を「ふるさと学校給食」に設定し、地元食材を使った料理を献立に活用していることについて説明を受け、試食を通じて量や品質などを確認しました。

次に、現在進行中の新学校給食センター事業のスケジュールや、調理機器の更新状況について説明を受けました。

委員からは、給食に係る原材料費の高騰や、給食センターで働く調理員の労働環境について質疑がありました。

建設経済環境委員会

現地調査

光るカーブミラーについて

光るカーブミラーについて調査を行いました。

光るカーブミラーの設置箇所や設置に係る金額、設置後の評価などについて説明を受け、質疑を行い、実際に現地の設置状況を確認しました。

委員からの質疑では、光るカーブミラーの設置により、事故の件数の推移はどうなったのか、新規に設置した数はどのくらいであったか、光るカーブミラーと通常のカーブミラーの設置数のバランスについてはどのように考えているのか、と質疑がありました。





一般質問

6月定例会月議会の一般質問は、
6月16日(火)、17日(水)、18日(木)の
3日間にわたり行われました。

●議員が市の事業に対して、執行状況や将来の方針をただしたり、政策的な提言を行います。
質問は1議員50分以内です。

●一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

●市ホームページで議会録画映像の配信や「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になれます。



インターネット議会中継



会議録検索システム

人口問題と自殺対策について



公明党
大石 保幸 議員



問 2025年における国全体の小中高生の自殺者は過去最多を記録した。国ではこどもの自殺対策を社会全体で取組むためなどとして「自殺対策基本法」を改正したが、この改正への市の対応を伺う。

答 市では近年、20歳未満の自殺者は発生していないが、若年層の自殺リスクは極めて深刻であることから、改正の趣旨に沿って関係機関と緊密な連携を取って対応を検討していく。

環境と資源の循環について

問 本年度から「第3次藤枝市環境基本計画後期計画」がスタートした。取組まれてきた成果を伺う。

答 ごみの減量化では、1人1日当たりのごみ排出量は、人口10万人以上50万人未満の自治体のうち、ごみ袋の有料化を実施していない自治体の中で全国1位の成果を上げている。

問 環境への配慮と循環経済を推進していく上でリファビッシュ品(整備済み製品)の活用と、それを扱う企業との連携を求めたいがどうか。

答 リファビッシュ品の活用は、廃棄物等の削減にもつながるリユースの取組の一つであり資源循環に寄与するものと理解している。その製品を扱う企業との連携については、国が策定予定のガイドラインを踏まえ、その可能性について検討していく。



防災気象情報の伝達、情報体系について



藤新会
秋田 隆久 議員



問 現在の情報伝達体制について伺う。

答 市民に迅速かつ正確な防災情報をお届けするため、「防災緊急情報一斉配信システム」を導入しており、同報無線、防災アプリ、キックオフメール、SNSなど多様な手段を活用している。消防団員が効果的な活動を行うための支援などについて、市ではどのように認識し、準備を進めているのか伺う。

答 市内6地区の消防団分団詰所敷地内に「土のうステーション」を整備する計画を立て、本年度は2地区に設置済み。また、最大2千リットルの排水能力を有する排水ポンプ1台を導入し、団員を事前招集することで、迅速な災害対応が行えるよう努めている。

問 外水氾濫・内水氾濫について、市民への周知・啓発をどのように進めていく考えか。

答 外水氾濫は21河川について、洪水浸水想定区域の県の公表を受け、洪水・土砂災害ハザードマップを改定し、広報ふじえだと一緒に全戸配布している。

内水氾濫は、水路や道路側溝から雨水が排水できずに溢れるかを予測する浸水シミュレーションを反映させ、より実際に即したハザードマップに向けて、改定に取り組んでいる。

議員のひとこと

今後も関係機関との情報共有と連携を一層強化し、市民の皆様が迅速かつ適切な避難行動をとれる防災体制の充実に期待します。



藤新会
藪崎 正幸 議員



公共施設の横断的な施設維持管理体制

問 市が所有する公共施設の修繕状況や老朽化の改善等は、担当課や予算の付け方等で優先順位に？がつくものが多い。これは「縦割り行政の弊害」と考える。市民にとっては市の施設である以上不平等があってはならない。だからこそ今一度市全体で確認し優先順位をつけ全庁で管理していかなくてはならないのではないかと？

答 市ではアセットマネジメント基本方針に基づいて管理している。突発的な不具合については財政経営部で一括管理している予算で対応する。例として、玉露の里のエアコンや巨石の森公園、鶯の細道公園等と駅南公園や青木中央公園の手入れの違いの差は何か？

問 今後全ての施設の劣化度調査等で状況把握をし修繕改修工事に努めていく。

選挙制度改革と投票率向上への取り組み

問 以前にも質問したがどのように変わったのか？

答 期日前投票所の増設や配置人員の増減等の見直しを行った。投票所そのものが移動する移動式期日前投票所の試験的導入を次期選挙に向けて検討する。

議員のひとこと

とにかく市民目線に立ち、現場確認をしていかなければいけない。事案は庁内で起きてるんじゃない！「現場」で起きてるんだ！



藤新会
大石 心平 議員



人口構成の変化に伴う地域コミュニティの維持と地域防災力の向上について

問 人口減少や少子高齢化が進む中、従来と同じ地域コミュニティの仕組みを今後も維持できると考えているのか。

答 従来と全く同じ仕組みや手法では地域コミュニティの維持は困難であり、人口減少社会に適應した地域運営への転換が必要との認識。そのため、地域の実情や支援ニーズを把握しながら、デジタルツールの活用や地域に寄り添った支援を進めていく考えである。

問 自治会や自主防災会へのデジタル活用をどのように進めるのか。

答 デジタル活用は若い世代の参加促進や情報共有、また活動の負担軽減に有効である。自治会での事例共有や相談対応、導入支援を進めるとともに、自主防災会についても地域の実情に応じたデジタル化を支援し、地域防災力の向上につなげていく考えである。

問 人口構成の変化が大きい地域などで、新たな地域運営を模索する際、市はどのように支援していくのか。

答 地域の自主性を尊重しながら、地域の実情や支援ニーズに応じた情報提供や相談対応を行い、地域とともに新たな地域コミュニティづくりを支援していく。



無会派
川島美希子 議員



少子化に伴う今後の幼児教育・保育施設の運営と子育て支援について

問 令和5年度より「地域型保育事業所雇用安定化事業費補助金」を創設。本市の保育施設は約60園と多い。近年は園児が定員に満たない園が増加。その反面、潜在待機児童が今年28人。審査後の空きを積極的に発信してはどうか。

答 審査をかけることができる空きのある園が、他にもあるといった案内をお知らせする。

問 兄弟が別々の園に通うには負担が大きい。転園希望者の入所審査の加点制度を設けるべきでは？

答 兄弟が通う園に入園を希望する場合は、加点を行っている。兄弟が別々で、翌年4月に転園を希望する場合の加点も前向きに進めていく。

問 病児保育は、3施設あるが地区等詳細を教えて。

答 藤枝地区「藤枝市シルバー人材センター」高洲地区「キッズルーム・リトルハッピー」青島地区「小石川町クリニック病児保育室」です。

問 病児保育は病中や回復期に看護師と保育士を配置し1日2000円、半日は半額。身近な市内園の入口等で周知できないか。

答 全ての園に可能な限り協力をお願いする。

問 空き家を単なる負の解消ではなく、子育て世帯の移住、定住を促進するための資源として、児童数の減少している地区での「サフリース方式」「期限付き賃貸」等、賃貸物件を増やす研究をしていただきたい。

答 新たに「住宅継承支援事業」を開始し、平島団地をモデルにセミナー・相談会を開催する。西北の白藤団地についても、実施に向け進める。



藤のまち未来
寺田亜記子 議員



蓮華寺池公園を起点としたまちづくり

問 蓮華寺池公園内トイレの環境整備と課題の対応について伺う。

答 高齢者や子ども連れも使いやすいよう、洋式化を計画的に進める。臭気対策も清掃業者等と連携し取り組む。

問 清水山ハイキングコースの管理状況と利用者が安心して歩ける取り組みについて伺う。

答 毎年、草刈りや清掃、点検、軽易な補修などを市民団体に委託して管理を行っている。中級コースであることや坂道、足元の注意点などを看板で分かりやすく示し、安心して歩ける環境を整える。

放課後児童クラブの終了時間の延長

問 午後6時以降の延長課題について伺う。

答 午後6時以降に勤務できる支援員の確保が最も大きな課題である。

問 多様な放課後の受け皿づくりについて伺う。

答 移動車両を活用した午後7時までの放課後児童クラブが民間事業者によって開設される予定。また、児童のお迎えや、その後の預かりにも対応できる有償ボランティア活動である「ファミリー・サポート・センター事業」の活用をあわせて分かりやすく周知する。

議員のひとこと

蓮華寺池公園の魅力向上と、子育て世帯が安心して働き続けられる環境づくりを求めています。



藤新会
木野 浩満 議員



準用河川六間川流域の浸水対策について

問 浸水被害の主な原因は？

答 六間川や大谷川の水位上昇により、河川へ接続する水路の排水機能が低下し発生する内水被害が主な原因である。

問 改修完了までの短期・中期的な浸水対策は？

答 短期的には、河川断面を確保するための浚渫を計画的に実施する。中期的には、公園や小中学校の校庭などの公共用地を活用した雨水貯留施設の整備に向け、協議を進める。

問 農業用取水堰の今後の改修は？

答 浸水被害が発生している田中地先の田中取水堰については、下流の平島境堰付近にポンプ施設を設置し、取水機能を確認した上で堰を撤去する計画である。

問 護岸等の日常維持管理は？

答 緊急性の高い護岸修繕や堆積土砂の撤去を実施している。河川内の除草は地域と連携して行い危険箇所については市が対応している。

問 六間川本川改修の考え方は？

答 本川改修は最も有効な浸水対策であり、下流側からの整備に加え、用水堰や橋梁の統廃合も含め効果的かつ経済的な整備手法を検討する必要がある。

議員のひとこと

本川改修と併せて浚渫や雨水貯留施設の整備など、今できる対策を着実に進める必要性を提言しました。こうした取り組みを積み重ねることが、浸水被害の軽減と市民の安全・安心につながると考えています。



藤のまち未来
河口 理麻 議員



持続可能な農業振興と、地域への愛着を育む取り組みについて

問 ふじえだゼロから農業エントリー制度の成果と、子どもや若者が農業への理解を深める取組は。

答 制度認定者126名のうち8名の就農や、販売活動につながった事例も生まれている。今後も収穫体験や農業者との交流を充実させていく。

問 有機農業の担い手育成にもつながるオーガニック体験農園を整備する考えは。

答 年度内開設に向けて準備を進めている。

問 移住・定住施策と連携した「農ある暮らし」の推進をどのように進めるのか。

答 農地付き空き家などの移住支援策を活かし、関係部署と連携して就農や移住を支援していく。

「教育日本一」を支える学習環境の充実と、選ばれるまちづくりについて

問 主体性や挑戦する力を育む体験的な学びにどう取り組んでいるか。

答 コミュニティスクールを活用し、地域との交流や体験活動を通じて探究的な学びを進めている。

問 教育を軸にどのようなまちづくりを目指すのか。

答 教育を、市政の重要な柱と位置付け、地域への愛着と生き抜く力を育むことで、人とまちが、育ち合う好循環を目指していく。





藤新会
山川 智己 議員



藤枝旧市街地のまちづくりについて

問 本市が考える今後の展望は？

答 藤枝の旧市街地における再生については、本市全体の活力あるまちづくりを牽引する大変重要な取り組みであると考えている。

この取り組みに呼応するように、アップルピネガー音楽支援機構による音楽スタジオ「MUSIC inn Fujiida」の開設をはじめ、宿泊や飲食の開業など、民間による力強い動きが広がっている。

今後は、点在する拠点を有機的に結びつける「分散型まちづくり」を推進し、地域全体としての価値を最大化していく。

問 岡出山公園の具体的な整備計画と、今後の岡出山公園のあり方は？

答 山頂部、中腹部、低地部にゾーンを分け、平和・歴史・観光・景観を一体的に体感できる公園として整備していく。

本年度は、低地部について、新たな慰霊碑のほか、藤棚・縁台・水飲み施設等の周辺整備を予定している。中腹部・山頂部については、芝生広場や階段状ベンチ等の整備を来年度予定している。

蓮華寺池公園から旧市街地をつなぐ拠点として親しまれる公園を目指し、地域の皆さまと連携を一層深め、機能を充実させていく。

議員のひとこと

本市の伝統ある歴史と文化に加え、新たな魅力が発掘されることで、旧市街地の持つポテンシャルを最大限活かせるまちづくりを！



藤のまち未来
勝治 伸也 議員



サッカーを核としたまちづくり

問 藤枝MYFCのホーム戦での観客の移動手段及び受け入れ体制について伺う。

答 渋滞緩和のため駐車場の増設は考えていない。軒先パーキングやシャトルバスの活用。更には「パーク&バスライド」の実施に向け取り組む。

問 スタジアムの命名権の検討状況について伺う。

答 榎野監督が就任し、注目度が一層高まっており、「蹴球都市・藤枝」を広く全国に売り込む好機として導入に向けて前向きに取り組む。

問 移動そのものをワクワク体験にするためにウエルカムゲートの設置はどうか伺う。

答 法規制や安全面を踏まえつつ、横断幕なども含め、歓迎ムードを感じていただけるおもてなしを実施できるように検討していく。

持続可能な介護サービス提供体制

問 介護サービスの現状認識について伺う。

答 高齢化の進展に伴い在宅・施設ともに介護サービスの需要が高まっている。人口構造の変化を踏まえ、適切に対応していく必要がある。

問 自立支援・重度化防止について伺う。

答 加齢によって心身の機能が低下するフレイルを予防するため初期から専門職が関わり生活機能の維持・改善を図るとともに生活変化を早期に把握し必要な支援につなげる体制を強化する。

問 支え合いの地域づくりについて伺う。

答 専門職や地域・企業などが連携し、地域全体で高齢者が社会参加できる環境づくりを進めていく。



藤新会
植田 裕明 議員



がん・歯周病対策について

問 がん対策のさらなる推進は？

答 女性の健康をテーマとした講座を企業等と連携して実施し、若い世代からのがん対策につなげる。保健医療福祉、教育分野、事業所等、関係機関と一体となって推進してゆく。

問 歯周病対策の一環でもある条例改正は？

答 「歯や口の健康づくり条例」を年度内に改正する予定である。

南海トラフ巨大地震への備えについて

問 自主防災会の防災訓練をどう考えているか？

答 昨年度は、県総合防災訓練のメイン会場として10月に実施したため、年1回以上の訓練をお願いしたが、今年度は年2回、夏と冬に訓練を実施する方針である。

詐欺対策について

問 安全安心なまちを標榜する本市として、詐欺対策は喫緊の課題である。効果的な詐欺対策として動画を作成することのだが、具体的にはどのようなものか？

答 詐欺被害を「自分事」と捉えられるよう体験談などをまとめた特殊詐欺対策動画を藤枝警察署、藤枝商工会議所と連携して作成し、ユーチューブで配信する予定である。





日本共産党
さとうまりこ 議員



福祉タクシーのさらなる充実を

問 福祉有償運送「おちやまるタクシー」は運行時間が短い、料金一回1600円、通院限定という課題がある。サービスの強化が望まれるがどうか。

答 市社会福祉協議会が8月より福祉有償運送「のりまる」を新たに実施する。市内は片道一律800円で8時半から17時まで、買い物、社会参加等にも使える。

倒木・枝折れによる事故を防げ

問 老朽化した公園の桜に更新計画はあるか。

答 更新計画はないため、計画的な更新の検討を進める。

問 瀬戸川堤防上の通学路でもある市道で、枝枯れなど危険な状況がある。定期的なチェックはされているか。

答 樹木は県管理区域内にあるため定期点検されていない所がある。道路管理者として確認し対応していく。

ナフサショックの影響を受ける市民に支援を

問 市内事業者の状況を調査し相談窓口を設置し、市ができるあらゆることを検討すべきではないか。

答 商工会議所等と連携して緊急窓口を設置、アンケート・ヒアリングを実施中。国保税、地方税の徴収猶予等の措置を適切に運用する。国・県に支援を強く求め、本市としても検討する。

議員のひと言

市民生活の困りごと解決に、優先して予算を。



藤のまち未来
八木 勝 議員



大雨のたびに不安になる高洲地区を、安心して暮らせるまちへ

問 高洲地区における浸水被害の現状認識について

答 高洲・高柳地区の浸水は、宅地化の進展に伴う農地の減少や、近年頻発する短時間豪雨などが要因である。また、黒石川・小石川の水位上昇により水路から河川への排水が低下し、内水被害が発生している。

問 小石川・黒石川流域の浸水対策の進捗と今後について

答 黒石川上流域ではバイパス水路の整備が進められており、県による河川改修や、焼津市の遊水地整備も進行している。小石川では浚渫工事を実施しているが、抜本的な対策としては本川改修が必要である。

今後、県や焼津市と連携しながら事業を推進することにも、駅西公園、青木中央公園、青島中学校、高洲小学校などを候補地として、公共施設への雨水貯留機能整備を検討していく。

問 今後の治水対策への取り組みについて

答 公共用地への貯留施設整備は、比較的早期に実施でき、河川への負担軽減策に有効な対策であるため、関係機関との合意形成のもと、可能な限り早期着手を目指していく。今後も流域治水の考え方に基つき、ハードソフト両面から、地域と連携した治水対策を推進し、安全・安心なまちづくりに取り組んでいく。

議員のひと言

地域をくまなく歩き、多くの「困った」の声に向き合う。第歩は命と暮らしを守る流域治水から。



公明党
山本 信行 議員



成年後見人等の取組について

問 市民後見人制度の活用促進に向けた市の取組状況と、今後の方針について伺います。

答 今後、市民後見人登録者を活躍の場に結びつけるため、「権利擁護検討会議」で弁護士等の専門職から意見を伺い、更なる活用促進に向け取り組んでいく。



ドナーミルクの取組について

問 母子健康手帳交付時の情報提供、妊婦健診受診時の医療機関での周知、また、両親学級やババママ教室の機会を通じて母乳バンクのリーフレットを配付するなど、広く知っていただく取組が必要と考えますが啓発について伺います。

答 ドナーミルクを利用できる医療機関が限られているため、医療機関で正しい情報が受けられるよう県などと連携し、周知に繋がる方法を検討することにも、母乳バンクの活動については、市のホームページなどで周知をしていく。

問 法的な位置づけが明確になっていない。市として国への働きかけを行っていく必要もあるかと思うが考えを伺います。

答 県や近隣市町と足並みをそろえ、その動向を注視していきたいと考えている。





日本共産党
石井 通春 議員



会計年度任用（非正規）職員の地位向上

問 市民と接する機会の多い窓口業務や教育や就労の相談業務など専門性が求められるながら非正規で働いている職員の地位向上が必要ではないか。

答 正規職員と比べて15分短い時間差勤務が差別のよつに映ってしまっている。日頃の尽力に感謝し、更なる職場環境改善と待遇充実に取り組む。

スピード感ありすぎのリニア県政にストップを

問 毎秒2tのトンネル内湧水、工事期間中山梨側に流出する500万tの数値は「不確実性を伴う」とされ、正確な水量のボーリング調査はこれから、この段階で県の工事認可はあり得るか。

答 想定外の事態が確認された場合には、立ちどまって確認するようJRに要請している。

問 水質の調査についても沢の一部だけにどまり中下流域の水量の維持だけで済まされる話ではない。豊富な地下水にも影響が大きいはず。

答 調査は詳細に実施されているが人が立ち入れないなどの限界があり順応的管理が不可欠。

問 人は既に入りチューブで配信されている。順応的管理とは「掘りながら進める」事であり解決出来る話ではない。

各地で実施されている説明会は集団討議もなくJRが展示したパネルを個々に説明するスタイル。議事録もなく住民理解が得られているか。

答 県が参加し一定の改善がなされたが、開催をもって住民理解が得られたという事ではない。



藤新会
多田 晃 議員



サッカーを核とした今後の街づくり

問 藤枝MYFCのJ2リーグ参戦による効果

答 蹴球都市として次の100年に歩みを進める中において、藤枝MYFCは街の一体感のシンボルでもあり本市に大きな希望と活力を生み出している。榎野監督の「街全体を盛り上げたい」との強い想いが、市民や市内事業者、各種団体など多方面に期待感や高揚感として伝わっており、「榎野効果」を実感している。藤枝MYFCが地域に与える効果は膨らみつつあり、2024シーズンに試算した直接消費額の約5億円は2025シーズンには約7億円に増加した。

問 アウェイ客を地域経済に繋げる取組みについて

答 市観光協会をはじめ事業者や大手企業等と連携した「藤色プロジェクトX」を展開する。また試合後もアウェイサポーターが市内に滞在し飲食店でホームとアウェイの垣根を越えて交流を楽しむという、他のホームタウンには見られない光景も名物になりつつある。

問 市・クラブ・民間企業などの連携強化について

答 藤枝MYFCを蹴球都市のシンボルとして発展させていくためには、市民や地域、事業者などが一丸となるとともに、それぞれにとって有益となる環境を創出していくことが重要。さらに現在、榎野監督の効果により藤枝MYFCへの注目を好機ととらえ大手プロダクション企業とも手を携えプロモーションや担い手となる人材づくりなどを行う準備も進めている。



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



学校での健康診断と子どもの権利を考える

問 「脊柱側弯モニタ機器」を試験導入した経緯について伺う。

答 志太医師会との協議の中で、これまでの目視による検査では、側弯症の疑いを正確に発見することが困難であることが分かったことから、機器を用いた検査を市内小中学校のうち10校で試験導入した。

問 健康診断を受けられない児童生徒ゼロの実現に向けた市の取り組みについて伺う。

答 志太医師会等のご協力を得て、昨年から健康診断受診助成事業が、県内で初めて本市で実施された。これが不登校の子どもの受診にもつながっている。

問 成人の方から、小中学校時代に健康診断を受診していれば早期に治療ができていたのに、という声を耳にする。子どもには、誰にも成長期に健康診断を受診する権利があるのに、その機会を奪っているのは周囲の大人たちではないでしょうか。本市で健康診断受診者ゼロの実現に向けて働きかけたいが如何か伺う。

答 保護者等に、健康診断の重要性をより一層周知し、全ての児童生徒が健康診断を受診できるように取り組んでいく。

議員のひとこと

藤枝市は、子どもの権利を大切に考えているまちだと、胸を張って宣言したいのです。



藤新会
深津 寧子 議員



クリーンセンター志太の供用開始に向けた周辺対策について

問 クリーンセンター志太の供用開始に伴う市民周知はどのように行うのか。

答 広報ふじえた6月号で施設概要を周知した。今後は広報ふじえた7月号やホームページ、SNS、広報志太広域、広報やいづなどを活用し、受入開始時期や受入場所、受入時間等について周知を行う。また、9月からの燃焼試験に伴い、高柳清掃工場及び岡部リサイクルセンターへの個人持込みが終了し、新施設での事前予約制や手数料改定についても周知を図る。家庭ごみの集積所への排出方法に変更はないことについても併せて周知していく。

問 クリーンセンター志太の環境保全対策はどのように進めるのか。

答 地元3町内会と環境保全協定を締結し、排ガスや騒音などの測定項目を定めるとともに、不測の事態への対応についても協定に盛り込む。

問 環境保全協定締結後の情報共有の方法は。

答 測定結果を志太広域事務組合のホームページ上で公開するほか、環境保全協議会を設置し、地域住民との情報共有や意見交換を行っていく。

問 確約書に基づく要望事項の進捗状況は。

答 仮宿・子持坂町内会はおおよそ半数が完了し、高田町内会については河川改修や道路整備など計画的に取り組んでいる。引き続き、一つ一つ真摯に取り組んでいく。

令和8年 議会運営委員会行政視察報告

愛知県尾張旭市 7月15日

『効果的な議会運営について』

議会運営に関する申し合わせ事項や議員間討議の実施に関する申し合わせ事項、政策立案等の実施に関する基本方針等を定め、議会の円滑な運営や議員活動の活性化に取り組んでいるほか、議会意見交換会・議会報告会の開催や常任委員会等の中継・配信を行うなど市民に開かれた議会の実現に取り組んでいる。



岡山県岡山市 7月16日

『議員発議によるカスタマーハラスメント防止条例について』

政令市で初めて議員発議で条例を制定し、本年4月から施行している。カスタマーハラスメントの防止に関し、基本理念を定め、市、顧客等、事業者及び就業者の責務を明示するとともに、防止に関する施策の基本的な事項を定めている。罰則規定は設けていないが、機運醸成を一過性のものにしないために、12月を「撲滅期間」に設定し、取り組んでいる。



議員研修会を開催しました

●令和8年度 第1回 藤枝市議会議員研修会

日時：令和8年6月30日(火)午後1時15分～2時30分

会場：市役所西館5階 第3・4委員会室

テーマ：藤枝市議会情報セキュリティ研修

デジタル・ガバナンスの基礎知識

—セキュリティポリシーと著作権が守る議会の信頼—

講師：藤枝市企画創生部 情報デジタル推進課

課長 田中 範明 氏



令和8年6月30日(火)本市情報デジタル推進課長による「藤枝市議会情報セキュリティ研修デジタル・ガバナンスの基礎知識—セキュリティポリシーと著作権が守る議会の信頼—」と題し、近年、社会全体でデジタル化が加速し、情報の利便性が高まる一方、サイバー攻撃や誤送信などのヒューマンエラー、意図せずして発生する「著作権の侵害」といった身近で深刻なリスクについての研修会を開催しました。議員はセキュリティと著作権を守ることは議会の信頼を守り抜くための必須条件であることを再確認する貴重な機会となりました。

令和7年度 政務活動費科目別支出内訳

令和7年4月1日～令和8年3月31日の政務活動費はこうに使われました。政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき条例で定められており、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派及び会派に所属しない議員に対し交付される費用です。藤枝市議会の政務活動費は、1人あたり年額300,000円であり、一括して年度当初に各会派（または議員）に交付され、支出に要した経費を控除して残余がある場合は市に返還しています。

詳しくは、
下記の二次元コードを
読み込んでください。



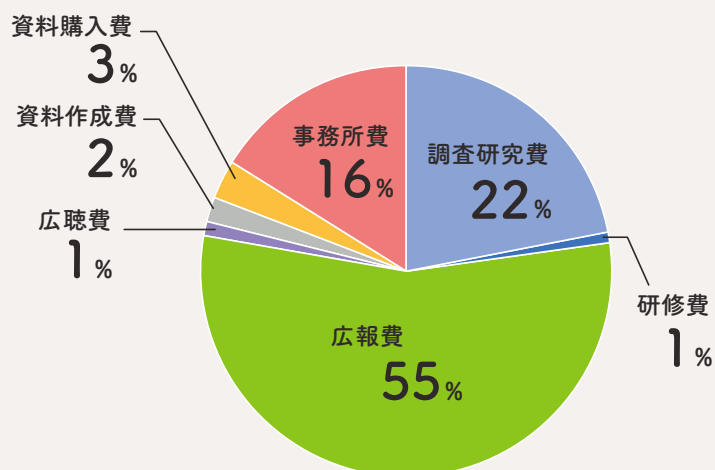
(単位：円)

	藤新会	藤のまち未来	日本共産党	公明党	池田博議員	山根一議員	計
交付額	2,400,000	2,100,000	600,000	600,000	300,000	300,000	6,300,000
調査研究費	186,010	676,205	0	0	0	256,589	1,118,804
研修費	0	2,000	32,550	0	0	0	34,550
広報費	1,514,893	851,008	386,575	0	60,500	0	2,812,976
広聴費	0	0	9,840	0	0	0	9,840
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	65,320	9,210	15,880	1,270	0	91,680
資料購入費	31,086	0	8,140	116,436	11,880	0	167,542
人件費	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	147,898	354,714	151,184	138,852	16,320	5,162	814,130
小計	1,879,887	1,949,247	597,499	271,168	89,970	261,751	5,049,522
返納額	520,113	150,753	2,501	328,832	210,030	38,249	1,250,478
実績交付額	1,879,887	1,949,247	597,499	271,168	89,970	261,751	5,049,522

永年勤続表彰



市議会議員として市政の振興に尽力されたことに対し、全国市議会議長会表彰
規程により表彰されました。
特別表彰（議員在籍20年以上）
岡村 好男 元議員



9月市議会定例会議会



藤枝市議会
ホームページ

9月定例会議会は、9月1日から10月2日までの32日間で開かれる予定です。

9月 1日 本会議1日目(☆)
議案上程等
8日 本会議2日目(☆)
一般質問
9日 本会議3日目(☆)
一般質問
10日 本会議4日目(☆)
一般質問・議案質疑等
11日 現地審査

14日 決算委員会①
15日 決算委員会②
16日 決算委員会③
17日 常任委員会
18日 決算委員会④
24日 決算委員会⑤
10月 2日 本会議5日目・採決等(☆)

本会議、委員会は予約なしで傍聴可能です。
☆は、藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。

市内学校の皆さん 議場を見学 してみませんか

主権者教育の一環として、市内小学校、中学校、高等学校を対象に議場見学の受入を行います。社会科見学等にご利用ください。

見学時間

平日の午前9時から
午後4時まで

ただし、市役所の休日及び議会の会期中や会議開催日等は除きます。

見学を希望する方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

市役所への交通手段
については
ご相談ください。

議会傍聴を お待ちしております 本会議 委員会

傍聴は、市議会の活動状況をはじめ、市政の動きに触れることのできる身近な方法です。

議会はどなたでも傍聴することができます。

予約不要ですのでお気軽にお越しください。市役所5階の受付で傍聴券をお渡しします。住所、氏名などの記入は不要です。



Facebook・Instagram 「藤枝市議会」で 議会活動情報を 発信中です

藤枝市議会では、ホームページ、市議会だよりに加え、SNSを活用して議会の活動や委員会の様子などを随時投稿しています。



Facebook



Instagram

